

1. 園の教育目標

「かんじる心 ちょうせんする心 げんきいっぱいさゆりっこ」

- (1) 友だちと元気よく遊ぶ子
- (2) 気づき考えて粘り強く行動する子
- (3) まわりのものに自らかかわろうとする子
- (4) きもちよくあいさつ、返事の言える子

2. 本年度の重点目標

- (1) 体を動かし、心も体も元気に
- (2) たのしそう、おもしろそう やってみよう
- (3) おはよう、ありがとうで、みんないい気持ち

3. 自己評価

- A…十分達成されている B…達成されている
 C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評 価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・園内研修会の実施をし、職員の資質向上を図っている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員（モニター会）からの評価

- ・音楽会の自園でやることを残念に感じた。ホールでの演奏に子どもたちも自信がついたように感じる。しかし、行事のためだけにではなく、日々の日常のつながりとしての位置付けという意図があれば納得できる。子どもたちは行事を楽しみにしている。今は劇の練習を楽しんでいる姿がある。行事の特別感はいいなと思うので、なくなっていくのは寂しい。行事に対して直接園からお話だけで、信学会、園の思いや考えに触れることができるとても有意義であった。等々、今後も保護者との連携、共通理解を図るために必要な情報を伝えてほしい。
- ・風邪等の感染状況を知らせてもらうのは有難い。配信で気づくこともあるので、今後も先生方の負担にならない範囲で配信をお願いします。保健健康管理にしっかりと取り組んでいてありがたい。
- ・家ではやってほしくないことは、そこまで！とストップさせてしまうが、園では思い切りやらせてもらえていて有難い。未満さんは担任含め副任の先生や周りの先生たちも見てくれている安心感がある。また会ったときに声掛けしてもらっているのも有難い。これからも大事にしてほしい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・園児の観察や環境への配慮は今後もていねいに取り組んでいきたい。また日常の保育でのヒヤリハットを通して予防への意識の向上を図っていきたい。
- ・主体性を大切にする保育を継続する中で、子どもに応じた活動、行事を職員全体で構築していきたい。またそのための研修を位置づけたい。
- ・子どもの成長でつながる幼小の接続の機会を継続して作っていきたい。